



A 試合会場レポート

試合番号 703

開催日 2019/05/04

第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 女子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 3,000	開始時間： 14:34	終了時間： 16:23	試合時間： 01:49	主審： 西中野 健	副審： 佐々木 伸子
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	------------

岡山シーガルズ



監督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:25 】	21	1
	25	第2セット 【 00:26 】	17	
	17	第3セット 【 00:26 】	25	
	25	第4セット 【 00:23 】	16	
		第5セット 【 】		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

NECレッドロケッツ



監督：金子 隆行
コーチ：高橋 悠

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

第1、第2セットは力以上の試合展開となったが、第3セットに入っているいつもの悪い癖が出てきた。第4セット、3点差になった時、キャプテンの山口が「引退の試合にしては、まだレシーブがよくない。」とコメントすると、それに対して皆が奮起しいい流れを引き戻し、宇賀神選手を中心にシーガルズらしいコンビバレーで勝利する事ができた。

たくさんの方の応援の中で、一試合でも多く山口キャプテンが皆様の前でプレーできるように、チーム全体で頑張りたい。

明日も引き続き、宜しくお願い致します。

<監督コメント>

どのセットにおいても、セット初盤にリードを許す展開を作ったのが、敗因だと思う。

また、ミスが少ない岡山シーガルズに対して、自分達からのミスで失点するケースが多かったのは、今後の課題である。

どんなに苦しい場面でも、選手同士でコミュニケーションを取り、最後の1点まであきらめずに戦った選手達を讃えたい。

本日もたくさんの方の応援、ありがとうございました。

次の大会のために、また準備していきます。

25	川島 亜依美	佐々木 萌	第1セット	大野 果奈	柳田 光綺	21
	()	()		(荒谷 菜)	()	
	宇賀神 みずき	渡邊 真恵		山内 美咲	山口 かなめ	
	()	()		()	()	
	金田 修佳	居村 杏奈		廣瀬 七海	ラーマット アルハッサン	
	()	(及川 真夢)		()	(篠原 沙耶香)	

リベロ： 丸山 亜季 リベロ： 岩崎 紗也加

25	佐々木 萌	渡邊 真恵	第2セット	大野 果奈	柳田 光綺	17
	()	(小野寺 夏希)		()	()	
	居村 杏奈	川島 亜依美		山内 美咲	山口 かなめ	
	(高野 由里加)	(及川 真夢)		(曾我 啓菜)	()	
	宇賀神 みずき	金田 修佳		廣瀬 七海	ラーマット アルハッサン	
	(山口 舞)	()		()	(篠原 沙耶香)	

リベロ： 丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ： 岩崎 紗也加

17	居村 杏奈	佐々木 萌	第3セット	大野 果奈	柳田 光綺	25
	(高野 由里加)	()		()	()	
	宇賀神 みずき	渡邊 真恵		山内 美咲	山口 かなめ	
	(小野寺 夏希)	(吉田 みなみ)		()	()	
	金田 修佳	川島 亜依美		荒谷 菜	ラーマット アルハッサン	
	(吉岡 美晴)	(山口 舞)		()	(篠原 沙耶香)	

リベロ： 丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ： 岩崎 紗也加

25	佐々木 萌	渡邊 真恵	第4セット	柳田 光綺	山口 かなめ	16
	()	()		()	()	
	居村 杏奈	川島 亜依美		大野 果奈	ラーマット アルハッサン	
	()	()		()	()	
	宇賀神 みずき	金田 修佳		山内 美咲	荒谷 菜	
	()	()		()	()	

リベロ： 丸山 亜季 榎崎 慈恵 リベロ： 岩崎 紗也加

	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ： リベロ：

<要約レポート>

準々決勝第3試合は、岡山シーガルズ対NECレッドロケッツの一戦。

第1セット、岡山は佐々木と川島の攻撃で7-2と大きく差をつける。対するNECは山口のサービスエースを皮切りに、岩崎の粘り強いレシーブから総力戦で応戦する。しかし岡山は、金田の巧みなスパイクで追い詰めるNECを振り切り、先取した。

第2セット、岡山は川島のブロック、山内のサービスエースで流れを掴むと、このセットも連取した。

第3セット、後のないNECは序盤こそリードを許すも、柳田の多彩な攻撃と大野の鋭いブロックで逆転すると、さらに荒谷と山内の速く力強いスパイクで連続7得点し大きくリードした。流れを変えようとする岡山に対し、NECの山内がスパイクを決め、セットを奪取した。

第4セット、一進一退の攻防が続くなか、岡山は金田の緩急つけたスパイクと宇賀神のサーブで相手レシーブを崩し流れを一気に引き寄せ勝利し、準決勝へと駒をすすめた。